

# DX コミットメント宣言

私たちの経営理念の一環として、日々進化し続けるデジタル時代において、

我が社はデジタルトランスフォーメーション (DX) への強力なコミットメントを宣言いたします。世界は急速に変化しており、その変化の一つとして世界中で PC や半導体製造装置など次世代のための設備投資が進み、精密板金製品が多く使用されるようになりました。そういった需要に対応するには、「遅くまでの残業・人員」でカバーをしなければならないのが今までの中小製造業の生産プロセスとなっていました。しかし、そういった「時間・人」をカバーするためのデジタル技術が発達してきています。そのため、それらのデジタル技術を取り入れて、これまでの生産体制にとらわれず、新しい価値(見積～納品までの時間の大幅短縮、データを用いた品質向上など)を生み出すことが求められています。この認識から、私たちは積極的かつ革新的なアプローチを取り入れ、DX を推進していくことを決断しました。

DX 実現のため、三本の柱を立て、推進していきます。

## ■顧客中心のアプローチ

私たちは顧客の期待に応え、より深い関係を築くために、デジタル技術を活用しています。

デジタル技術の活用として、システム開発会社と連携を取り、弊社独自にカスタマイズされた生産管理システムの運用をしております。これにより、「製造・生産管理・納期管理」の方法が変わり、より効果的かつ品質や納期を保証した製品を提供できるようになっています。不良情報は定期的にシステムに投入し、共有することで 2026 年までに**"不良の再発件数を 0"**にします。

## ■データ活用の意思決定及び体制

我々は大量のデータを収集・分析し、ビジネスの洞察を得ることで、戦略的な意思決定を可能にしています。これにより、市場の変化に適応し迅速な対応ができる体制を整えています。

また、データ活用のための DX 人材を採用し、社員教育業務を与えることによって 2026 年までに**"新たな DX 人材(3～5 人)を輩出"**できるよう取り組みます。現時点で IT 分野の国家資格を有した社員が在籍しており、体制作りを推進しております。

## ■柔軟性と俊敏性の向上

DX は我が社にはかつては存在しないものであり、柔軟性と俊敏性を向上させていると実感しております。新しい技術やプロセスへの適応力を高め、社会全体の流れに合わせて変革に迅速に対応できるようになっています。新たなデジタル技術の業務活用を行ったら、ホームページにて公表します。全社的に業務総括を実施する日(決算月を予定)を設け、2026 年までに**"「生産インフラシステム」ページに追記"**します。

## 【未来へのコミットメント】

デジタルトランスフォーメーションは我が社にとって単なるプロジェクトではありません。これは未来への投資であり、変化する環境において競争力を維持し、更なる成長を遂げるための手段です。

DX 人材の育成が進み、部門として発足可能と判断した場合には「システム部門」を立ち上げ、中小企業の DX 推進に尽力を注いでいきます。私たちはこれら取組へ真摯に取り組み、社内外のすべてのステークホルダーと共に、より良い未来を築くために努力してまいります。

これら、3 本の柱、未来へのコミットメントは 2024 年 1 月 5 日に臨時取締役会にて承認されました。

2024 年 1 月 5 日

オーク精密株式会社 代表取締役 荻野 富保